

情報提供日: 令和8年10月2日

< 龍ヶ崎市×流通経済大学「龍・流連携事業」公開授業 > 14年で延べ8,003人が受講！命を守る方法をこども達が学ぶ 大学生が AED 使用法などを教える「救命の授業」を公開(10/8)

龍ヶ崎市が、市内小中学校で実施してきた「救命の授業」が、令和8年10月8日(木)の授業で通算100回目の節目を迎えます。

本授業は、「龍・流連携事業」の一環として、市内にキャンパスのある流通経済大学スポーツ健康科学部の稲垣 裕美教授と学生らが協力し実施しています。

平成24年の1回目の開催から14年目となる今年、ついに100回を迎えます。記念すべき100回目の授業では市立長山小学校(千葉幸子校長)の6年生52人を対象に実施し、報道機関向けに公開します。



▲過去の授業の様子

官学連携で大学の学生らが主体となり、小中学校で AED の使用方法等を指導する授業の開催を、行政が支援する取り組みは全国的にも珍しいものです。

授業を受ける児童生徒が救命処置の重要性を学ぶだけでなく、指導する学生も現場で直接教えることによって、普段の座学では経験できない、伝え方の工夫など指導方法を学べる機会となっています。

報道機関の皆様におかれましては、ぜひ当日の取材を賜りますようお願い申し上げます。



「龍・流連携事業」の概要

本市と流通経済大学は、「大学のあるまち」をコンセプトに、2004年(平成16年)2月に「龍ヶ崎市と流通経済大学との連携に関する協定書(通称: 龍・流協定)」を締結。

協定に基づき、教育・文化・スポーツ・産業・まちづくり・人づくりといった様々な分野で市と大学が連携することで、まちの活性化と大学教育の向上を図り、相互に発展していくことを目的としている事業。

これまで、龍・流連携事業として、「市民大学講座」や「学割サービス」など様々な事業を行っています。

■日 時	令和8年10月8日(木) 午後2時30分～午後3時15分 (報道受付 午後2時から)
■場 所	龍ヶ崎市立長山小学校 体育館(所在地: 茨城県龍ヶ崎市長山5丁目7-1)
■指 導 者	流通経済大学スポーツ健康科学部 稲垣裕美 教授、学生10人
■そ の 他	主なプログラム内容(別紙)

担当課	龍ヶ崎市 総務部 防災安全課 防災対策グループ 担当者: 鎌田・田中(かまた・たなか) 連絡先: 0297-60-1514(直通)
-----	---

別紙

主なプログラム内容

◆救命処置の重要性の理解

救命の基礎知識や心肺蘇生(CPR)の重要性について児童の理解を促します

◆胸骨圧迫の方法と AED の使い方の習得

トレーニング用人形および AED 訓練機器を使用し、グループごとに胸骨圧迫の方法や AED の操作手順を繰り返し練習することで、児童が救命スキルを磨きます。

〈龍・流連携事業における本授業の特長〉

大学の学生らが継続的に小中学校で授業を実施し、実践的な救命教育に取り組む仕組みは、全国的にも珍しい取り組みです。

年齢の近い学生が指導することで、児童は親近感をもってより真剣かつ楽しく実践的な技術を学ぶことができます。

なお初回授業からこれまでに、延べ8,003人の児童生徒が受講しており、令和8年度も10校784名が受講予定です。